

言葉も文字も幼児期に覚えさせるもの

一家そろって外国に転住した場合、一番早くその国の言葉を完全に覚えて使えるようになるのは必ず幼児です。年齢が進むにつれて上達が遅れるのは今や衆知の事実です。幼児は語学の天才と言われ、その学習は早ければ早いほどよいと言われています。

漢字の学習も同じことです。漢字は目で見える言葉であり、耳でとらえる言葉よりもとらえやすいものですから、生後八ヵ月を過ぎたら、漢字を覚えることが可能になります。私どもの実験によれば、幼児ほど無雑作に覚え、漢字を覚えることに少しの負担も感じません。幼児には、覚えようという努力なしに覚えられるのです。

韓国の金雄鎔ちゃんは、生後八ヵ月から漢字を教えられ、一年間に五百字くらいの漢字を覚えています。この程度のことは、天才でなくても、ごく普通の子供でもやればできるものであることが、私どもの実験で証明されています。

十数年前の文部省の調査ですが、中学一年生に対して行われた漢字カテストの平均読字力は五百字に足りなかった、と報告されてい

ます。その程度の漢字力なら、幼児は二年間で楽々と身につけることができます。